



新潟市美術館

Niigata City Art Museum

美術講座

2026

時間

14:00 ~ 15:30
(開場13:30)

場所

新潟市美術館 2F 講堂

聴講無料 / 申し込み不要 / 定員80名(当日先着順)

専門的に研究していること、最近の
関心ごと、展覧会に関連すること……
学芸員がちょっとディープな美術の
いろいろをお話しします。

お問い合わせ

新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL: 025-223-1622

FAX: 025-228-3051

museum@city.niigata.lg.jp

<https://www.ncam.jp/>



7/4 (土)

夢二と新潟

塚野卓郎 (新潟市美術館 学芸員)

1930年10月に新潟を訪れた竹久夢二。同年4月に構想した「榛名山美術研究所」実現に向け、頒布会の開催や現地の人々との交流を行いました。調査を通じて確認された当時の足跡や活動の様子をご紹介します。

7/19 (日)

大正風俗・女学生好み

一いかに夢二は愛されたか

荒井直美 (新潟市美術館 学芸員)

竹久夢二は当時の女学生の流行の火付け役でした。明治から大正にかけて日本の社会に躍り出た〈女学生〉に注目し、絵画に描かれた姿を紹介するとともに、雑誌、小説、ファッションなどに見るそのカルチャーを読み解きます。

10/31 (土)

日本洋画商史：長谷川仁を中心に

塚野卓郎 (新潟市美術館 学芸員)

笠間日動美術館が所蔵する世界でも珍しい「パレットコレクション」。その蒐集を始めたのは、1928年に創業した日動画廊の創業者・長谷川仁でした。彼の生涯を中心に、日本の洋画商の歴史を辿ります。

11/22 (日)

画商の作った美術史 —ヨーロッパの場合

荒井直美 (新潟市美術館 学芸員)

19世紀、芸術の都パリには多くの画廊が存在しました。ゴッホも一時勤めたグーピル商会、印象派をいち早く評価したデュラン＝リュエル画廊など、画家たちとの交友を辿りながら画商の果たした役割を考えます。

2/6 (土)

老いと芸術 成熟と衰弱のあいだに

藤井素彦 (新潟市美術館 学芸員)

歳を重ねることは、成熟や円熟である一方、衰えや喪失でもあります。さまざまな美術作品にあらわれた老いの表現や徴候をたどりながら、作者と作品との関係について、芸術(さらには文明)と時間について考えます。